

キーワードは「主体的」！ 研究だより

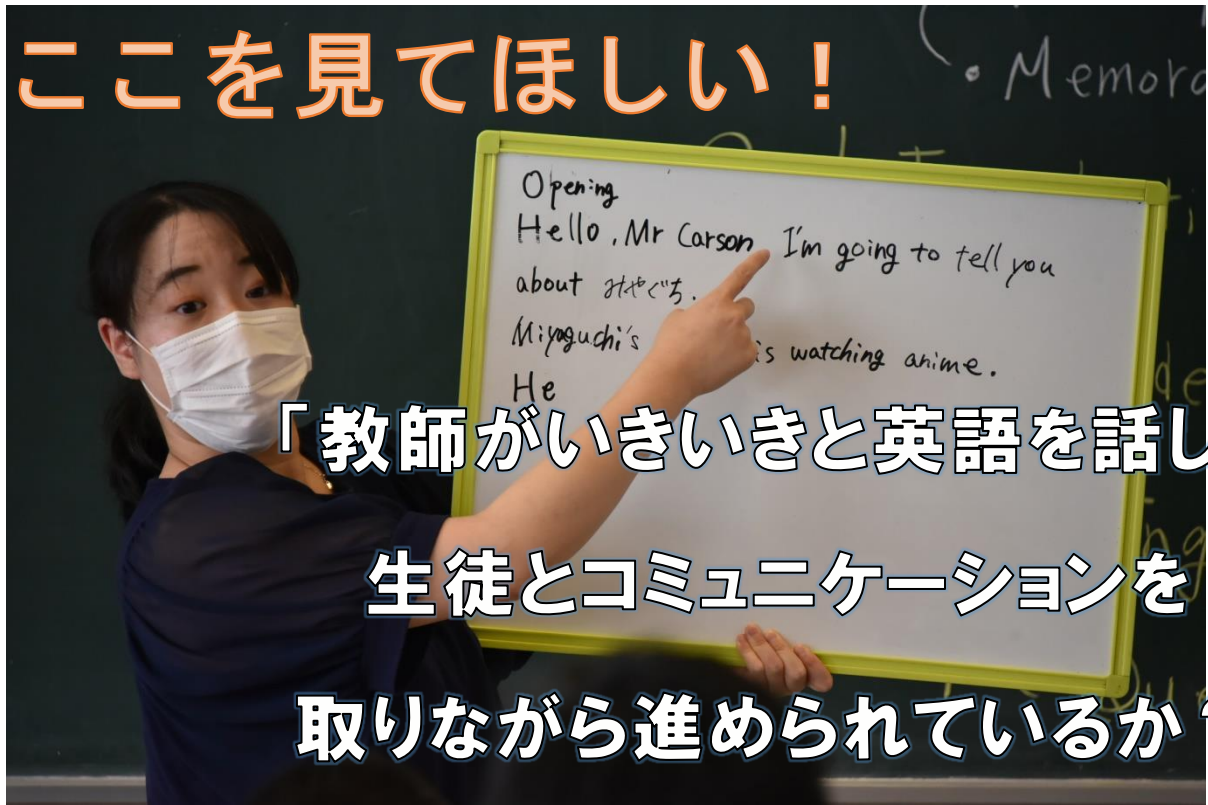


互見授業

グループA

発行者 工藤 義教

ここを見てほしい！



「教師がいきいきと英語を話し、生徒とコミュニケーションを取りながら進められているか？」

日時 7月22日（水）4限 3-2 英語

★Carson 先生が生徒のことを知りたいけど、なかなか話せる時間がない。生徒がお互いにインタビューをして、色々な情報を引き出し、紹介文を書こうという設定の授業でした。→導入で、Carson 先生からのメッセージビデオを見せていました。



★前時で何をしていくかを確認していますが、できていないペアには声をかける。→インタビューをしている様子を見回り、質問や回答の内容を深めたいペアには声を掛けていました。



★インタビューから詳しい情報を引き出すために、3つのポイントを伝え、隣のグループとインタビュー用紙を見比べて、考えていました。→「詳しく」「正確な」「個性的な」質問と回答を引きだそうとしていました。



【GOOD!】

- 白新に来てまだ間もないカーソン先生を巻き込む課題，よかった。カーソンさんが学習する原動力になっている。
- 状況設定が良い。単に「インタビューしよう」より，どんな質問，回答をするか考えさせることができ，見方，考え方を働かせることができる。
- 教具がたくさん準備されている。目で，耳で分かるように工夫されている。
- 英語上手ですね。今の若者は！素晴らしい。All English だ！生き生き話していました。
- TV のところにいる時，画面を見がちだが，しっかり生徒の方に視線がいつている。
- なんとか和英辞書を使って英語で言おうとしている。妥協せず，英語を使い進める。生徒にとっては，ハードルが高い生徒もいるとは思いますが，これくらいしないと力をつかないかな？
- 何とか英語で聞こう，辞書を使って，調べて書こうとする姿勢があるのは良い。
- 知っている単語を使って，何とか質問をつなげようとする姿があり，良かった。

【もっと!】

- 原則 All English と言われているが，板書の英語をもう少し子どもたちが見返しやすい単語を使った方がいいと思いました。
- 「やりとり」に重点を置くのであれば，プリントはメモでもよかったのでは？代案として，疑問詞だけメモをして，マップを使って，質問したものをまとめていけば，より詳しく聞く必要があることが見えてくるのではないかな。
- パソコンの操作は，リモコンマウスを使うと良い。
- Good Introduction が見方，考え方になっていないのかな？FT のようにホワイトボードにマップを書いて会話の内容を書いていくと視覚化できて，もっと質問を引き出せそう。
- 詳しい情報を引き出すためのインタビューを考えるのが難しい。声かけをしてごこまで考えられたらう。
- このやりとり（活動）をしていくことで，〇〇になることを目指している。つまり，それが「自分の思いをいきいきと表現する」につながる。目的意識を持たせたい。
- 挙手して発言した人が周りに突っ込まれて苦しくなった。それを見た生徒は，「発言するときは完璧に分かれないと苦しくなるんだな」と他の生徒は学ぶ→発言しにくくなる。
- スタートして8分。教師と生徒のコミュニケーションは，生徒2名の発言のみ。始めにもっとコミュニケーションしたい。
- 黒板の Today's Goal と顔写真は必要だったか。
- Good Introduction の活動で，3つの視点が与えられたが，スペルミスや文法の指摘がメインとなってしまうグループがあった。
- 質問数を減らし，回答を深めるワークシートにしたらどうか。次時の自己紹介作りにつながりやすい。
- 単語や2，3語の回答が多いので，そこに「～というと？」と質問を重ねられた場合の追加説明を考えさせると良いのではないかな。英語ファシリ=EFT や！
- 英語を使おうとする姿勢がある反面，ねらったインタビューで情報を引き出す，文章化するということができない生徒に対する手立ては，どう考えていたか？
- グループでの活動がなかなか意図した通りに進んでいなかった原因は何か？この活動をするだけの英語力がない？意図が伝わっていない？設定が難しかった？または個人のインタビューで完結した？

授業を見せてくださった小池先生，お疲れ様でした。たくさんの感想・意見をくださった参観された先生方，ありがとうございました。

- 互見授業の「視点」は？
 - 付箋で整理する
 - 授業の様子（文章・写真）
 - ※文章は短く簡単に！
 - ※写真は、授業者の先生＆視点にかかわるもの
- ★互見授業後、全職員に配付をお願いします。
記憶が新しいうちに！！

枠は、

共有フォルダ→【令和2年度】→運営委員会→
研究推進委員会→互見授業→研推だより

- ★印刷のもとを田村にくださ～い。
PDFにしてHPにアップします！

写真は、「学校記録」に保存

田村 甘口レポート

坂井先生と関野先生の思いが強かったため、田村の枠が小さくなってしまいました（笑）！
辰口中の研修会に参加して「白新中の生徒・先生方の素晴らしさ」を再確認しました！

互見授業を通して互見学校間の研修会に参加して学び合いますが「互見の姿」が大切だと思いがちです。どんなに素晴らしい取り組みをしていても、こどもの姿につながっていないと意味がないと改めて